プログラム再生時の注意事項について

CD-601MKII/RC-601MKII共通

- プログラム再生モードでキューポイントが登録されている場合、停止時にREADYキーを押すと、再生モードが通常再生（全曲再生）に自動的に切り換わり、キューポイントにロケートしてオンラインREADYになります。
  ただし、モニター再生中にREADYキーを押すと、再生モードはプログラム再生のままでキューポイントにロケートしてオンラインREADYになります。

RC-601MKII使用時

- プログラム再生モードでキューポイント（CUE1～CUE10）へのロケート操作を行なうと再生モードが通常再生（全曲再生）に自動的に切り換わり、キューポイントにロケートします。
  ロケート後の待機状態はオートキューアップ設定（メニュー番号16で設定）に従ってオンラインREADYまたはモニターPAUSEになります。

- プログラム再生モードでフラッシュスタートを行なうと再生モードが通常再生（全曲再生）に自動的に切り換わり、フラッシュスタートを開始します。

- プログラム再生モードでテンキーによるトラックスキップを行なうと再生モードが通常再生（全曲再生）に自動的に切り換わり、テンキーで指定したトラックにスキップします。

- プログラム再生モードではタイムサーチができません。タイムサーチ機能がオンのときにプログラム再生モードに設定すると、タイムサーチ機能が自動的に解除されます。

- プログラム再生モード時は、メモポイントを使った機能を使うことができません（メモポイントの設定、ロケートはできます）。また、メモモード中はプログラム再生モードにすることができません。

TEAC CORPORATION
Phone: +81-422-52-5082
3-7-3, Nakacho, Musashino-shi, Tokyo 180-8550, Japan
D00876000A
Printed in Japan